

2022年10月27日 令和4年度全国婦人相談員・心理判定員研究協議会

演題： 困難を抱える若年女性への支援——調査と支援の間から

琉球大学 教育学研究科 上間 陽子

## 1 沖縄の社会調査からみる若い女性たちの現状—調査の概要

### 風俗調査／沖縄階層調査

- ▶ 共同研究者：打越正行さん。階層調査では岸政彦さん、上原健太郎さん。2011年に打越さんと一緒にオーナー等に依頼。
- ▶ 2012年に風俗調査を始め、以後は口コミ。
- ▶ 対象：風俗業界で働いている若者（既存の法体系のもとでは合法／非合法のラインを行き来しながら生活する若者）
- ▶ 最終的には調査対象者は男女あわせて18名。

→『裸足で逃げる』（太田出版） 『地元を生きる』（ナカニシヤ出版）

### 若年出産女性調査

- ▶ 共同調査グループ：しんぐるまざーふぉーらむ沖縄
- ▶ 対象：10代で第一子を出産した女性。
- ▶ 2017年度開始、2018年から単独調査、現在のところ77名。

→『海をあげる』（筑摩書房）

## 2 ふたつの調査の調査対象者の共通点

- ① 家族関係の厳しさ。
  - 単身：関係解消の時のダメージ、慰謝料・養育費ほぼなし。
  - 婚姻関係：単独で育児、家事。性生活の非協力、暴力。
- ② 初職が風俗業界が多い。
  - 10代で風俗業界に出入りしていた女性が、子どもを持ち、パートナーと離婚した（別れた）後、生活費・子どもを育てるために、ふたたび風俗業界に戻っている。
- ③ 暴力の問題

## 3 ふたつの調査の調査対象者の違い

- ① 不登校開始年齢が変化
  - 旧調査の不登校開始年齢は中学生、新調査の不登校開始年齢は小学生。
- ② ネットワークの性質が変化
  - 旧調査では地元に着したピアグループ、新調査ではネット上のママ友グループ。

→リアルな関係が縮小し、安定的な定位家族か否かが  
ダイレクトに現れている。

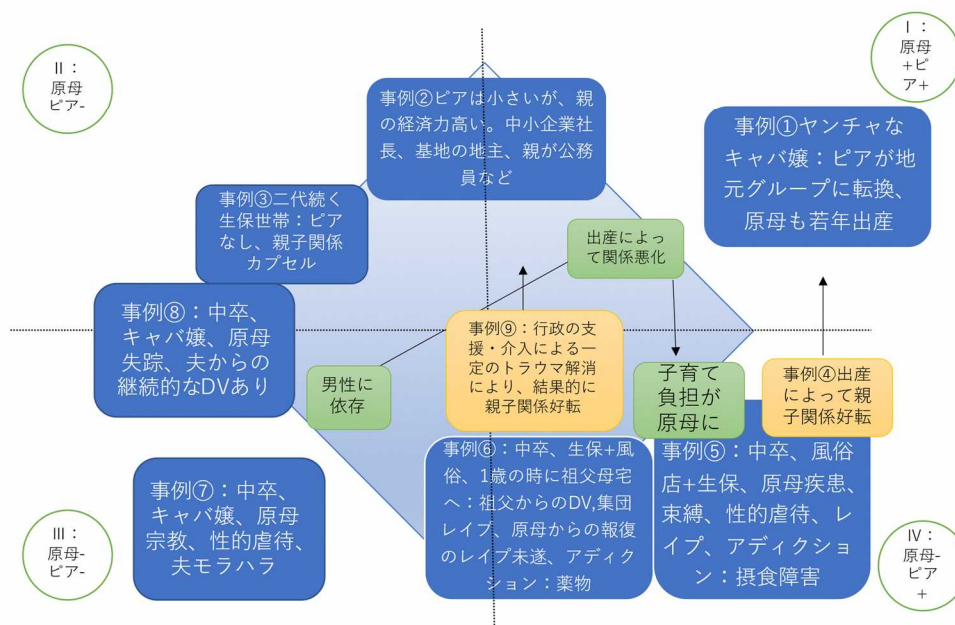
③ 風俗業界での働き方が変化

④ 幼少期からの性暴力の事例

→トラウマを抱え生きる「不安定さ」の深度がいっそう深い。

#### 4 若年出産女性たちの多様性

ケア実態に注目 横軸 ピアグループ 縦軸 原母との関係



#### 5 調査の事例から考えてきたこと

#### 6 若年女性の出産応援施設「おにわ」の設立と大事にしていること